



## あのころ、あの議論

～特別委員会を振り返って

長年にわたり議会運営に携わられてきた

OB議員の方々にお集まりいただき、

現在のいわき市の礎づくりに貢献した特別委員会について

語っていただきました。

### 常磐道の延伸を強く要望

—— 議会として、当局をさらに後押しをするためにつくられた特別委員会。とりわけ、いわき市の将来を左右することになったのは、主要幹線道路特別委員会、大学誘致特別委員会、企業誘致特別委員会の三つの特別委員会でした。



**吉田** 私は昭和五十五年に議員になったのですが、そのとき高速道路の早期実現を目指す主要幹線道路特別委員会に入りました。当時、常磐道は日立まででは通じていたのですが、そこからなかなかいわき市に来ないため、特別委員会を

つくって執行部を応援しようとなったわけです。

日立まで通じていた高速道路をどうやっていわき市まで伸ばしていくかというのが最大のポイントで、ネットクになったのが北茨城にたくさんあった炭坑でした。

石炭を掘るのに使った坑道があったため、なかなか工事が進まない。それと言うのも、あそこは路盤が落ちないようコンクリートに鉄筋を入れる補強策が特別に



プラスされたから。そうした理由があつて、なかなか進まず、特別委員会として何回も陳情し、市当局と一緒に道路公団にお願いをしました。

座談会出席者

(敬称略)

吉田 正登

◎在任期間：昭和55年10月～平成20年9月  
◎OB会役職：会長

政井 博

◎在任期間：昭和55年10月～平成16年9月  
◎OB会役職：副会長

藁谷 利男

◎在任期間：昭和63年10月～平成20年9月  
◎OB会役職：副会長

佐久間 均

◎在任期間：平成4年10月～平成20年9月  
◎OB会役職：幹事長

小野 昌太郎

◎在任期間：昭和55年10月～平成4年9月  
◎OB会役職：幹事

野地 登久雄

◎在任期間：昭和59年10月～平成20年9月  
◎OB会役職：監事

遠藤 重政

◎在任期間：昭和61年9月～昭和63年9月  
平成4年10月～平成24年9月  
◎OB会役職：監事



藁谷 利男

その結果、少しずつですが進んできたという経過があります。そういう思いがありますから、皆さんもそれぞれかわった特別委員会の想い出があれば披露していただきたいと思います。  
**藁谷** 主要幹線道路特別委員会は高速道路だけを所管していたのでしたか。  
**吉田** そうではないです。

**野地** 常磐バイパスとか、国道二八九号線とか。  
**小野** いろんなところをやっていましたね、かなり広がったから。  
**吉田** 国道四九号平バイパスもだいぶやったね。  
**佐久間** 磐越道もありました。  
**野地** 常磐道が開通したときに、コンクリートの上にアスファルトを敷かなかったんだよね。だから、いわき市に入るとタイヤからの音が変わったという思い出がある。  
**佐久間** 私もそうです。議員になる前のことですが、兄弟が東京にいたのですが、いわきに来るとアスファルトからコンクリートになるので音が高くなると言っていました。  
**遠藤** 音が高いのは、北茨城から湯本あたりまでだと思う。  
常磐道といえば、私が議員になって忘れられ



遠藤 重政

ない思い出があるのね。常磐道が延伸してきて、中央インターで止まっていたのだけれど、中央インターから北伸するときに、高架橋を架けたのだけど、そのときのセレモニーで、金色の工具を預けられ、白い手袋をしてボルトを締めたことがある。あのときは、建設常任委員長をやっていて、その関係で役がまわってきたのだと思う。  
**藁谷** 記憶がないな。(笑)  
**遠藤** ほかの人は行っていないから分からない。(笑)  
**野地** 高速道路以外の主要幹線というと、常磐バイパスの完全四車線化はまだ終わってないですよ。  
**遠藤** まだ終わっていない。  
**野地** 完全に四車線化するとかかなりスムーズに流れる。夜になると渋滞するんだよね。  
**遠藤** 好間工業団地の関係ですね。  
**佐久間** 上荒川のトンネルなんてひどいもので

すよ。朝はずっと渋滞で。四車線化になればよっぽどいいでしょうけど。

**野地** 平バイパスの四車線化は全部終わったのですか。

**吉田** まだですね、遅れています。

## 働き口の確保のため企業を積極的に誘致

—— 多くの工業団地をつくることで、いわき市は炭鉱のまちから転換することができました。



**政井** 吉田さんと小野さんと私は、昭和五十五年当選の同期です。その当時のいわき市は、産業振興を頑張つてやろうという意気込みにあふれていた時期でした。好間中核工業団地は、私たちが当選したところに造成していました。分譲を開始したのが昭和六十年です。私は企業誘致特別委員会の副委員長をやらせていただいたの



政 井 博

ですが、機運が盛り上がっていた時期だったので、好間中核工業団地に企業誘致をしようと、いろいろな事業者を訪問した思い出があります。そのころは、タンガロイを初め、企業もどんどんやってきていました。

**野地** 好間中核工業団地はいわき中央インターチェンジの近くで、場所的にうまくつくりましたね。

**吉田** いわき市は工業団地をいくつか造りましたからね。

**野地** 好間が最大でしょう。でも市内のあちこちにもあるんだよね。

**吉田** 南台も、私が議員になってからです。

**野地** 鹿島もあるし、四倉もあるし。

**藁谷** 一番古い工業団地はどこですか。

**吉田** 鹿島じゃないかな。

**佐久間** 鹿島は昭和三十九年に新産業都市に指定されてからではないですか。

**吉田** 鹿島に企業誘致をしようという話はあまりなかったですね、もうできていたから。

**藁谷** 中部工業団地はどうでしたでしょう。

**佐久間** あれはずっと新しいです。

**吉田** あそこもいい団地になりましたね。

**野地** 四倉中核工業団地は埋まっているのですか。

**佐久間** 足りなくて造成しているという話です。

**野地** 好間中核工業団地は満杯なのですか。

**遠藤** 出入りがあるみたいですね。



**政井** 企業誘致を盛んにやったのは、当時常磐炭礦が閉山になって、労働者の働き口を見つけないのが大変でした。それととにかく企業誘致、企業誘致ということでした。

**佐久間** いわき市が、当時、工業製品出荷額が東北で一位というのは、こうした工業団地があつたからだ、あとから聞きました。

**野地** 工業団地をつくるにしても、いわき市が優先でしたから。工業団地への企業誘致が成功して、今のいわき市があるということ。いわき市はうまくいったケースで、炭鉱のまちか



ら転換して、今のまちができたわけです。

**佐久間** 企業誘致をするにしても、これだけ広い土地があるわけですから、合併したのは将来を見越してもよかったですと思います。昔は開発する土地はいくらでもありましたから。

**野地** 市民憲章に「日本一広い面積を持ち…」とあるけど、現在は全国で十何番目くらいじゃないですか。

平成の大合併でそうなったのですが、それでもいわき市は広いですね。

**小野** 海岸線が六〇kmもあるんですから。

### 土地やお金の問題でおお揉め

—— 大学を誘致したおかげで、若い人も集まるまちになりました。

.....

**吉田** 明星大学の誘致は覚えているかい。

**野地** 明星大学誘致は、田畑市長が一生懸命取り組んできたと思います。当時、明星という名前を「みょうじょう」と読んだりしましたが、今では明星大学は成功していると思います。

**吉田** 明星大学の誘致が本決まりになっていないうちに、田畑市長が明星大学の学長と意気投合したんですよ。田畑市長から言わせると、学長がなかなかの人格者ということで、「ぜひ、議会でも特別委員会をつくって、明星大学に働きかけてください。」と逆に役所の側から要請があったんですから。

大学誘致特別委員会の委員長は、渡辺多重さん、鹿島清造さん、安藤正則さんなんかもやりましたね。

**小野** 安藤さんは一生懸命やりましたよ。

**遠藤** 彼は最後まで大学誘致をしたことを誇りに思っていました。

**吉田** 彼は何回も大学に行ったからね。骨を折ったひとりであったね。

**野地** 明星大学の創設の時期には、渡辺多重議員がいくら頑張ったかわからない。お金の問題で、議会でかなりやりあいをしましたから。でもあの人は頑張りましたね。結局、大学をつくりましたから。議会の中で反対されてもやりきった。

**吉田** それはお金の問題もさることながら、土地の問題もあった。中央台団地の土地を、体育館の土地を含めて大学側に全部無償提供すると



吉田 正登

いうのがいわき市の提案。だから大学も乗り気になったんです。でも、それで議会が揉めたんですよ。

**野地** かなり揉めたんですよ。議会に大学の人をお呼びしたんですから。

**小野** あのとときはすごかった。

**野地** 創設できるか問題だったけど、なんとか資金繰りをしてやったのは、たいしたものだった。

**吉田** やはり、あれは大英断でしょう。議会の方も、最終的には特別委員会をつくって応援するようになったからね。特別委員会を設置するまでが大変だった。

**政井** 明星大学の開学が一九八七年だから昭和六十二年。だいぶ昔ですね。

**藁谷** 私は、参画していませんでした。大学誘致の特別委員会に所属した記憶もないし。

**佐久間** 私もそうです。

**野地** 私はやっていただけで、小野さんもやっていただけですね。

**小野** やったかもしれない。

**遠藤** 私は誘致が決まってからなんだけど、薬学部をつくるときにけっこうかかわったよ。やはり薬学部をつくらないとダメだ、そして薬学部と並行して看護学部もつくれとなった。今の学長が薬学部の部長で、はじめに話を聞いてくれてね。看護学部もなんとか実現したいと話を出したんだけど、お金の関係があつて…。大学から「いわき市にも応分の負担をぜひお願いしたい。」と言われ、一〇億までならなんとか努力するからと答えた記憶があります。看護学部で四年制の看護師を養成した方が、医師会の准看護師養成よりもいいから、共立病院にいいドクターが来るのではないかと気がなつたので。

**野地** 明星大学は、市民活動に活用されているのではないですか。

**藁谷** 公開講座ね。

**野地** 好評みたいだよ。

**佐久間** 近いから、私もたまに公開講座に行く



小野 昌太郎

ことがあるんだよ。

**遠藤** 議会と一体になって明星大学が誘致されたりには、後からは議会との交渉が少なくなっている。せっかく大学ができたのに、磐城高校も、磐城女子高校（現磐城桜が丘高等学校）も、なぜか先生方の押し方が弱い。それは、私から言わせると、議会との交流が少ないからではないかと思っている。私が議員だったころは、明星大学に案内されて、いろんな懇談をしたり、交流したつもりなんだけど、そのあとピタッとそういう案内がなくなつた。これではだめだと議会で言った記憶がある。

**野地** しばらく議会としての明星大学との交流はなかったよね。

**吉田** 誘致するまでだね。開学してからはあまりなかった。

**小野** 誘致するまでは、何につけても明星大学、明星大学と話していたけども、開学してからはさほど議会との関係はない。いわば、いわき市との関係がないということだな。

**遠藤** 看護学部の設置で手をあげたのは、ここ二年ほどでしょ。

**吉田** 議会もさることながら、当局も足を運ばないといけない。議会は執行機関ではないから、方針を出すわけにはいかない。方針に賛同できれば力を貸せると思うが、まずは当局ですよ。

**藁谷** ただ言えることは、何かの審議会に明星大学の先生方は必ず入っている。



**佐久間** 入っていますね。

**吉田** ところで、東日本国際大学もそうだけど、大学ができたことで、若い人が集まってくるまちなつたのは確かだね。そういう面で、私は大学誘致は大きなウエイトを占めていると思うよ。

**野地** 東日本国際大学も、それなりに人数がいるんですよ。留学生もいるようだけど。

**佐久間** ベトナムやミャンマー、ネパールからも来ているみたいです。東南アジアが多い。

**野地** 今は中国人よりも、そっちの方からが多いみたい。

**遠藤** 私が中国に行ったときに案内してくれた学生が、ぜひいわき市に行きたいから保証人になつてくれと言われたことがありました。

**藁谷** ガイドをしてくれた学生が、いわき市内の大学に入りたということでしたね。

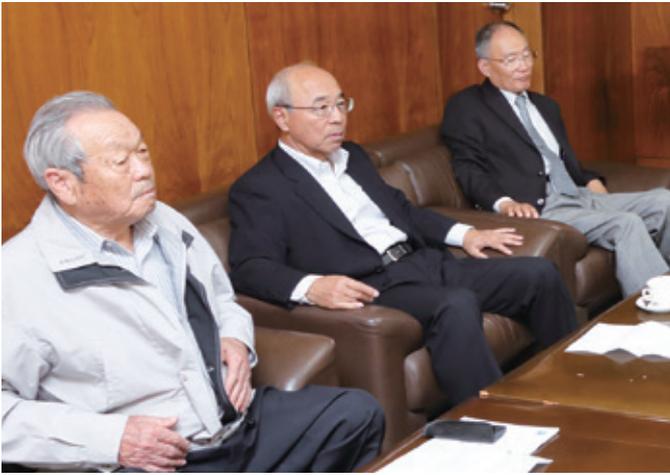
## 国内外で都市間交流を推進

—— 友好都市や国際姉妹都市など、いわき市は都市との交流に努めています。



**政井** 撫順市やタウンズビル市など、友好都市や国際姉妹都市の話題はどうでしょう。

**野地** 親子都市の由利本荘市、兄弟都市の延岡市もあるし。



**政井** そういう交流はずいぶんやりましたよね。  
**野地** 問題は、中国との政治的な関係もあって、撫順市との交流関係が薄くなってしまったことです。

**藁谷** いわき市は、特に交流がへたくそだなど思うんですよ。今回、ハワイのカウアイ郡との国際姉妹都市締結をしましたが、締結しても育てようとしていない気がします。行政がメインになっていろいろやると、市民がついていきづらい部分がある。この前、スーザン・ロバーツさんとお話したところ、行政じゃなく市民対市民でやろうという提案を受けたのですが、当たり前だなと思っただけです。

特に言えるのは、撫順市との関係です。撫順市に行つて向こうの役人と話したときに、撫順市はいわき市との交流はもういいと思つている。いわき市の最初の姉妹都市が撫順市でしょ。せっかくだから、もつと大事にしていかなきゃいけない。

**小野** だいたいそういう傾向がありますな。撫順市とやったのは田畑市長のときで、そのあとどうするかというのは、当局はまったく考えていない。はたから見るとそういうふうにいる。

**遠藤** 撫順市との間で、民間での交流は。

**藁谷** 一切ない。企業が進出していたときは民間交流があつたけど、企業が撤退してしまつたから。

**野地** 関係がだんだん薄くなつてきた。



佐久間 均

**佐久間** 議会の四期生は撫順市に行かないんですか。

**遠藤** 四期生は今も行っている。

**政井** 市議会議長の事業ではなくて。

**遠藤** いわき市の単独で。それだけは残した。  
**藁谷** 県、東北、全国の各議長会による研修旅行は全部廃止してしまつた。撫順市とだけは友好関係を続けようということ、四期生の分だけは残っているんです。

**佐久間** 撫順市からもいわき市に来たからね。

**野地** 答礼みたいだね。今はそれがいい。撫順市との交流関係はない。

**藁谷** 市長が変わると、どうして友好都市になつたのかという因果関係を理解していないから、関係がよけい薄くなつてしまふ。

**野地** 撫順市との友好都市締結は田畑市長がやった仕事。そのあとの為政者になるとだんだんと疎くなつてしまふ。われわれが行つたときは、ものすごく歓待された。

**藁谷** 熱烈歓迎でした。

**吉田** 熱烈歓迎で、車で走っていると信号がみんな青になってしまふ。すごい国だと思つたね。あと、友好都市の記念に蔵書を送って図書館をつくったから、子どもたちは喜んだ、喜んだ。

**遠藤** さすがに中国的だと思つたのは、日本だったら教室の中に先生が一人だけ、向こうは共産党員が中に入っていることだったな。

## 懸案事項の解決を目指して

—— 三つの特別委員会以外にも、市政の重要な問題について特別委員会がつけられました。



**野地** さつき話をした以外の新しい主要幹線、勿来から茨城の方に向かう線はどうなの。

**吉田** 南進の話は出ているけど、進んでいない。

**野地** 工事は始まっていないの。

**吉田** 始まっていない。



野地 登久雄

**遠藤** でも、用地は確保して動き出したようだ。

**藁谷** 常磐三市で話をするときに、必ず話題になるのがそれだった。

**野地** その道路ができると、国道がかなり整備されたことになる。

小さな主要幹線だけど、内郷駅平線の延伸。私が一期目に質問してから三〇年以上経つけど、やっとトンネル工事が始まった。その先の問題はまだ残っているもの、トンネルが開通すると渋滞が緩和される。

**佐久間** 今まで話した三つ以外に、特別委員会をもっといっぱいあった。介護保険もあったし、少子高齢化もあったし。

**遠藤** 駅前再開発もあった。

**吉田** 駅前も容易ではなかったな。

**野地** 駅の北側はきれいになったのでは。あれも懸案事項だったからね。

**小野** 三〇年前からだからね。

**遠藤** 駅前がきれいになっても、いわき駅の人の動きが平駅のときよりも少ないんだ。それはJRとの駅づくり、まちづくりの大きな課題だね。

**野地** バス停が以前はラトブの前だったのが、駅の敷地の中に入ってしまったため、人の流れも変わってしまったんだね。

**遠藤** 人が駅構内から町なかへ出てこないから。

**野地** ラトブの前に止まれば、そこから人の流れがあったのだけど、今はタクシーも中に入っていて、そういうマイナス面はある。



**遠藤** 私が議員を辞めたのは四年前だから、諸先輩の中では一番新しいかな。私としては、皆さんに理解していただきたいのは、私が議員になつてすぐに、市立病院は三つもいららない、好間病院は民間に移すべきだと議会で発言し、成就した。そのあと、共立病院と常磐病院の二つがあることで財政的な面でも医療面でも大きなマイナスであると言ったことがある。常磐病院は評判がよくなかったから、病院改革をするには、いち早く切り離して、共立病院ひとつにした方が立ち上がりやすいと考えていた。ところが、なかなか議会がその方向にいかない。特に、常磐地区の区長会が反対といって聞かない。そこで議会を止

めて、区長会を説得するために病院事務局の皆さんが二日ばかりで歩いた。そして三日目に議会を再開して可決した。議会としては、大きな仕事だったね。それをやった結果が、今では市民に喜ばれていると私は理解している。そして公立病院も、病院としての立ち上がりも、再スタートも早かった。このようなことを考えると、いろいろと行政に注文したり、市民に活動をお願いしたりするにも、議会にはそれなりの力が必要なのだとは痛切に思っている。

**野地** 議会の力がそれなりになかったら、議員をやっている意味がないものね。

**遠藤** 今、常磐病院の評判はすごくいいからね。

**佐久間** 私も行っているから。(笑)

**遠藤** 接遇がすごくいい。

**藁谷** 親方日の丸と民間との差でしょう。

**吉田** まあ、そういうことだけど、どこまで民間に委ねることができるかというのは別問題だからね。



**吉田** これまでテーマを三つに絞って、それぞれの皆さんの苦労話や思い出話をしていただきました。三つに絞ったというのは、いわき市の将来にとって欠かすことのできない三つの項目だと思ったからです。そのほかにも、病院の問題などいろいろありましたけど、長く行政に携わってきた議会のOBとして、こうした座談会の機会を設けていただいたことに感謝を申し上げます。

